

# 第1章 はじめに

## 1 目的と経緯

### (1) 目的

この構想は、伊豆半島を含む富士山麓地域を全国でも有数の新しい桜の名所に育て、日本を象徴する景観を創出するとともに、景観の創出による交流人口の拡大と地域振興を図ることを目的とします。

### (2) 経緯

この構想は、富士山麓の標高差を活かし、日本列島の南から北へかけての桜の種類・開花時期の変化を垂直的に表現することができないか検討することから始まりました。

構想の策定にあたり、有識者や地元企業・住民の代表等で構成する「桜で彩る富士の景観づくりを考える会」を設置し、考える会の指導・助言を受け検討を進めました。

検討の過程において、富士山の自然植生を保全しつつ多くの桜を長い期間楽しむため、富士山麓の標高差に伊豆半島の気候的な要素を加味し、水平的にも展開することにしました。

この結果、伊豆半島を含む富士山麓地域全体で、開花場所を移動しながら、多くの桜を長い期間楽しむことができると考えました。

#### ○構想策定までの過程

日付	内容
平成19年8月	桜で彩る富士の景観づくりを考える会を設置。
平成19年8月22日	平成19年度第1回桜で彩る富士の景観づくりを考える会開催 ・取り組みの方向性の検討
平成19年10月30日	平成19年度第2回桜で彩る富士の景観づくりを考える会開催 ・基本方針案の検討
平成19年12月	桜で彩る富士の景観づくり基本方針の策定
平成20年3月17日	平成19年度第3回桜で彩る富士の景観づくりを考える会開催 ・現地検討
平成20年7月18日	平成20年度第1回桜で彩る富士の景観づくりを考える会開催 ・構想のイメージの検討
平成20年9月19日	平成20年度第2回桜で彩る富士の景観づくりを考える会開催 ・魅力ある新たな名所づくり等の検討

平成 20 年 12 月 17 日	平成 20 年度第 3 回桜で彩る富士の景観づくりを考える会開催 ・桜で彩る富士の景観づくり構想（案）の検討
平成 21 年 1 月	桜で彩る富士の景観づくり構想策定

○桜で彩る富士の景観づくりを考える会の委員

平成 19 年度

区分	所属・役職	氏名	区分	所属・役職	氏名
学 識 者	元東京大学教授・森林環境研究所長	渡邊定元	市 民 ・ 企 業 等	富士通株式会社 沼津工場施設環境担当部長	渡邊昇司
	国立科学博物館 名誉研究員	近田文弘		富士急トラベル株式会社 静岡ブロック副支配人兼沼津支店長	佐々木金次
	元静岡県森林・林業研究センター研究技監	鈴木久雄		秩父宮記念公園 園長	根上博
	東海大学開発工学部感性デザイン学科教授	東恵子		(財)静岡県グリーンバンク 専務理事	高木春夫
	(財)日本花の会 結城農場長	田中秀明		富士市花の会 会長	渡辺房江
行 政	静岡県 県民部理事	料所俊文		(特)地球緑化センター 静岡支部代表	関正次
	随時市町のオブザーバー参加を要請する			フジフォレストクラブ 主宰	勝又幸宣
				静岡県観光ボランティアガイド連絡協議会 会長	金塚宣作

\* 富士通株式会社 東内稔委員人事異動により渡邊昇司委員就任

平成 20 年度

区分	所属・役職	氏名	区分	所属・役職	氏名
学 識 者	元東京大学教授・森林環境研究所長	渡邊定元	市 民 ・ 企 業 等	富士通株式会社 沼津工場施設環境担当部長	渡邊昇司
	国立科学博物館 名誉研究員	近田文弘		富士急トラベル株式会社 静岡ブロック支配人兼富士宮支店長	佐野正之
	元静岡県森林・林業研究センター研究技監	鈴木久雄		秩父宮記念公園 園長	根上博
	東海大学開発工学部感性デザイン学科教授	東恵子		(財)静岡県グリーンバンク 専務理事	高木春夫
	(財)日本花の会 結城農場長	田中秀明		富士市花の会 副会長	渡辺美穂子
行 政	静岡県 県民部理事	熊崎実		(特)地球緑化センター 静岡支部代表	関正次
	随時市町のオブザーバー参加を要請する			フジフォレストクラブ 主宰	勝又幸宣
				元静岡県観光ボランティアガイド連絡協議会 会長	金塚宣作

\* 富士急トラベル株式会社 佐々木金次委員人事異動により佐野正之委員就任

## 2 対象地域の範囲

この構想の対象とする地域の範囲は、富士山の眺望や地域の桜の特徴等から考え、伊豆半島全域を含む富士山周辺地域とします。

具体的には、図-1 のとおり静岡県内でかつ静岡市以東を対象地域とします。



図-1 構想の対象範囲

## 3 地域の桜の概要

静岡県に自生するサクラ類は 14 種あり、このうち伊豆半島から富士山麓にかけての地域には、ヤマザクラ、マメザクラ、オオシマザクラなど 13 種の桜が自生しています。これらの自生種のうちマメザクラ、オオシマザクラは、地域の特徴をなす種です。

日本列島は、古第三紀から新第三紀に至る間に割れ、この分断された地質構造線をフォッサマグナといっています。フォッサマグナの南半を中心に第三紀の海ができ、南アルプスを中心に造山運動が起こりました。第四紀になるとフォッサマグナの海の中で海底火山が噴き上げます。こうした地質構造を反映し、フォッサマグナ地域の特殊な立地環境は、多くの種を隔離遺存させ、また種の分化が進みました。

伊豆半島から富士山麓は、このフォッサマグナの中心地であり、前述のオオシマザクラは伊豆半島・伊豆七島を中心に生育しています。また、マメザクラは、この立地環境のなかで新しく生まれた種とされており、富士・箱根・伊豆地域に多いことからフジザクラとも呼ばれています。

オオシマザクラ・マメザクラからは、多くの園芸品種が生まれています。この理由のひとつには、立地環境の遺伝的変異を生じさせる火山地帯特有の要因があるといわれており、この原動力もフォッサマグナの特殊な地質環境とされています。

また、対象地域には、前述の自生種のほかに多くの種類の園芸品種が栽培されていま

す。園芸品種は、人が楽しむために名前を付けて大切に栽培されてきているサクラの種類です。

対象地域内の自生種及び静岡県内でよく見ることが出来る園芸品種、富士・伊豆地域の特徴的な園芸品種は、次のとおりです。

### (1) 対象地域内の自生種

亜科	属	自生種
サクラ亜科	サクラ属	ウワミズザクラ、イヌザクラ、バクチノキ、リンボク、 ●エドヒガン、●ヤマザクラ、●オオヤマザクラ、 カスミザクラ、●オオシマザクラ、マメザクラ、 タカネザクラ、チョウジザクラ、ミヤマザクラ

\* 分類は、佐竹義輔ほか編(1989) 日本の野生植物 木本 I 平凡社による

\* ●は、「さくら 静岡県サクラの品種とみどころ」静岡県さくらの会 (P8 参照) で紹介されている種

### (2) 園芸品種

#### ○県内でよく見ることが出来る園芸品種

##### 【カンヒザクラ系栽培品種】

カンヒザクラとヤマザクラやオオシマザクラとの雑種とされる品種。

- 寒桜 (カンヒザクラ×ヤマザクラ)、
- 大寒桜 (カンヒザクラ×オオシマザクラ?)、
- 河津桜 (カンヒザクラ×オオシマザクラ?)、
- 修善寺寒桜 (カンヒザクラ×オオシマザクラ?)

### 【オオシマザクラ系栽培品種】

オオシマザクラの八重等の品種、またはオオシマザクラとヤマザクラ、オオヤマザクラなどとの雑種とされる品種で一般にサトザクラと呼ばれている品種。

＜オオシマザクラの八重等のサトザクラ＞

- 一葉、●松月、●御車返し、●天の川、●普賢象、●鬱金、●御衣黄、●楊貴妃、●福祿寿

＜ヤマザクラ・オオヤマザクラの影響が見られるサトザクラ＞

- 関山

＜ヤマザクラの影響のみられるサトザクラ＞

- 白妙

＜オオシマザクラの栽培品種＞

- 駿河台匂

### 【エドヒガン系栽培品種】

エドヒガンの八重等の品種、またはエドヒガンとオオシマザクラ、マメザクラなどとの雑種とされる品種

＜エドヒガンの八重等の品種＞

- 枝垂桜、●紅枝垂、●八重紅枝垂

＜エドヒガンとオオシマザクラとの雑種の品種＞

- 染井吉野（エドヒガン×オオシマザクラ）

＜エドヒガンとマメザクラとの雑種とされる品種＞

- 八重紅彼岸（マメザクラ×エドヒガン）、●小彼岸（エドヒガン×マメザクラ）、●十月桜（コヒガンザクラ×？）、●思川（ジュウガツザクラ実生）

### 【マメザクラ系栽培品種】

マメザクラの八重等の品種、またはカスミザクラなどとの雑種とされる品種

＜マメザクラの八重等の品種＞

- ミドリザクラ（リョクガクザクラ）、富士菊桜

＜カスミザクラなどとの雑種とされる品種＞

- 鴛鴦桜（マメザクラ×カスミザクラ）、●冬桜（マメザクラ×？）

**【チョウジザクラ系の栽培品種】**

＜チョウジザクラとサトザクラとの雑種とされる品種＞

- 高砂（チョウジザクラ×サトザクラ）

**【カスミザクラ系栽培品種】**

＜カスミザクラの八重等の品種＞

奈良の八重桜

**【ヤマザクラ系栽培品種】**

＜ヤマザクラの八重等の品種＞

菊枝垂（ヤマザクラ系のサトザクラ）、気多の白菊桜、  
駿府桜（ヤマザクラ実生）、静岡（ヤマザクラ実生）

**○富士・伊豆地域の特徴的な園芸品種**

**【カンヒザクラ系栽培品種】**

- 熱海桜（寒桜）（カンヒザクラ×ヤマザクラ）、
  - 河津桜（カンヒザクラ×オオシマザクラ？）、
  - 修善寺寒桜（カンヒザクラ×オオシマザクラ？）、
- 伊豆多賀赤（カンヒザクラ×オオシマザクラ？）、  
熱海早咲（カンヒザクラ×オオシマザクラ）

**【オオシマザクラ系栽培品種】**

汐風桜、蓑掛け桜

**【エドヒガン系栽培品種】**

伊豆吉野（エドヒガン×オオシマザクラ）、  
天城吉野（オオシマザクラ×エドヒガン）、  
船原吉野（オオシマザクラ×エドヒガン）、  
御帝吉野（オオシマザクラ×エドヒガン）、  
早生吉野（エドヒガン×オオシマザクラ）、  
紅染井（三島系）（ソメイヨシノ×エドヒガン）、  
修善寺桜（エドヒガン実生）、  
白玉（ソトオリヒメ実生：（衣通姫（ソメイヨシノ×オオシマザクラ））  
三島桜（ソメイヨシノ実生）、駿河桜（ソメイヨシノ実生）、  
浅間枝垂れ、染井紅

**【マメザクラ系栽培品種】**

小豆桜、水土野八重、茜八重、富士菊桜、●鴛鴦桜（マメザクラ×カスミザクラ）、  
ミドリザクラ（リョクガクザクラ）  
御殿場桜（マメザクラ×？）

**【ヤマザクラ系栽培品種】**

山桜枝垂れ、三島滝匂、  
三島富士見桜（ヤマザクラ実生）、駿府桜（ヤマザクラ実生）

\* 園芸品種の分類は、サクラの品種に関する調査報告（1982,日本花の会）、  
大場秀章ほか編（2007） 新日本の桜 山と溪谷社を参考とした

\* 県内でよく見ることができる園芸品種は、「さくら 静岡県サクラの品種とみどころ」静岡県さくらの会及び桜名所情報等による

\* 富士・伊豆地域の特徴的な園芸品種は、大場秀章ほか編（2007）新日本の桜 山と溪谷社、国立遺伝学研究所（1898）遺伝研の桜 を参考に、県内（富士・伊豆地域）で発見された品種や三島市の国立遺伝学研究所で作出された品種を抜粋

\* ●は、「さくら 静岡県サクラの品種とみどころ」静岡県さくらの会（P8参照）で紹介されている品種

## サクラの品種

桜花爛漫。4月ともなれば気候もおだやかになり、多くの種類のサクラがいっせいに咲きそろいます。日本には300種以上のサクラの品種があるといわれ、秋や冬に咲く品種もあります。このうち、県内でよく見られる品種を中心に31種類を紹介します。

### 早咲きのサクラ (1月～3月中旬)



**1 寒桜**  
熱海桜(アタミザクラ)とも呼ばれ、暖地では1月から開花する。寒冷地には適さない。



**2 河津桜**  
河津町に原木がある早咲きの桜。2月中旬から開花。花期が長く、花色が濃く美しい。



**3 寒緋桜**  
台湾などに自生しており、台湾緋桜、緋寒桜とも呼ばれる。花は鐘状で平開しない。3月中旬開花。



**4 修善寺寒桜**  
修善寺町の修善寺に原木がある早咲きの桜。大木となるが、枝は横に拡がらない。3月中旬開花。

### 染井吉野よりも少し早く咲くサクラ (3月下旬)



**5 江戸彼岸**  
春、彼岸のころに開花。野生の桜で樹勢が強く、寿命も長い。



**6 小彼岸**  
江戸彼岸と豆桜の雑種と推定される。花着きが良く、大きくならないので、庭園に向く。



**7 紅枝垂**  
枝垂れ桜の中でも特に花色が濃い品種。枝垂れ桜は、江戸彼岸の変種。



**8 大島桜**  
伊豆半島や伊豆大島に自生する野生の桜。潮風に強い。

### 染井吉野と同じ頃から少し後に咲くサクラ (4月上旬～中旬)



**9 染井吉野**  
日本各地に植えられている代表的な品種。生長が早く極めて大きくなるが、テングス病にかかりやすい。



**10 八重紅彼岸**  
小彼岸系の桜。中輪八重咲で枝は直立する。鮮やかな花が一斉に咲くので、際立って見える。



**11 山桜**  
古来より親しまれてきた代表的な野生種。花とともに展開する新芽も美しい。



**12 鶯鶯桜**  
おしべが2本ある花が多いことからこの名が付けられた。豆桜系であまり大きくならない。



**13 思川**  
染井吉野にやや遅れて開花する半八重咲きの美しい桜。花着きが良く、全体が花で覆われる。



**14 高砂**  
あまり大きくならない八重桜。南殿、早生都とも呼ばれる。



**15 八重紅枝垂**  
八重咲で美しい枝垂れ桜。



**16 一葉**  
花の中心から葉化したおしべが1本出るのでこの名が付けられた丈夫で美しい桜。





**17 豆桜**

富士山とその周辺に多く自生しているため富士桜とも呼ばれる。低木状の木に多くの花を咲かせ美しい。



**18 大山桜**

蝦夷山桜、紅山桜とも呼ばれる。主に関東以北の山に自生する野生の桜。寒さに強く、寒冷地に適する。



**19 白妙**

白花の八重桜では代表的な品種。樹勢が強く、大木になる。



**20 御車返し**

花の美しさに御車を返してこの花を眺めたとも伝えられる桜で、別名を桐ヶ谷という。



**21 楊貴妃**

その名のとおり美しい八重桜で、あまり大きくならない。

**4月下旬に咲くサクラ**



**22 天の川**

枝が直立し、円柱状となるので、狭い庭などにも適する。



**23 鬱金**

黄緑色の花を咲かせる珍しい八重桜。樹勢は、強い。



**24 関山**

濃紅紫色の花を咲かせる八重桜の代表的な品種。桜湯として用いられる。



**25 御衣黄**

緑黄色の花を咲かせる珍しい八重桜。



**26 松月**

最も花の美しい八重桜。樹勢は、あまり強くない。



**27 駿河台句**

花に芳香がある匂い桜の中でも、特に香りが強い品種。



**28 福祿寿**

大輪の花が美しい八重桜。花つきも良い。



**29 普賢象**

葉化した2本の雌しべが、普賢菩薩の乗る象の鼻に似ることから名づけられた。

**二季咲きの桜（秋、冬と春）**



**30 十月桜**

10月頃と翌春の2回花を咲かせる珍しい桜。彼岸系の品種。



**31 冬桜**

11月から12月にかけてと、翌春の2回花を咲かせる桜。



サクラ品種の写真と解説については、財団法人日本花の会の協力を得ました。

## 第2章 桜で彩る富士の景観づくり 基本方針

### 1 基本方針

この構想をとりまとめるのに当たり基本方針としたのは、次のとおりです。

#### 「桜で彩る富士の景観づくり基本方針」

##### 1 魅力ある新たな桜の名所づくり

###### (1) 富士山の眺望の保全・活用

- ・ 富士山の眺望に配慮した植栽や修景の計画を進める。
- ・ 間近で見る桜、谷を隔てて見る桜など、様々な景観づくりを進める。

###### (2) 富士山周辺を一体とした名所づくり

- ・ 富士山周辺（伊豆半島を含む）を一体的な名所にとらえて検討する。
- ・ 富士川から富士山静岡空港までの間でも、富士山の眺望が望める場所については検討対象とする。
- ・ 桜を活用した特色ある大小の拠点を作り、その間を桜の線でつなぐことで、地域全体が桜で覆われるイメージづくりを進める。
- ・ 拠点整備等は、自然生態を保全すべき場所と観光化された場所のそれぞれの条件をふまえ検討する。
- ・ 新しく植えるだけでなく、既存の名所の再生や老木の保全・再生も進めて拠点とする。
- ・ 将来、山梨県等を含めた広域な構想も検討する。

###### (3) 静岡県らしい景観づくり

- ・ フォッサマグナで分化したマメザクラなどの地域の自生種を積極的に活用する。
- ・ カワヅザクラ、アタミザクラなどの気候温暖な伊豆半島の早咲きの桜を活用するなど、富士山から伊豆半島にかけての地形、気候を考慮し、長い期間桜が楽しめる地域づくりを検討する。
- ・ 狩宿の下馬桜など地域の歴史・文化と関連するサクラの活用を検討する。
- ・ 単一種による統一や、複数種では開花時期をそろえるなど、拠点の花のボリュームを確保するよう配慮し、種類（自生種と園芸品種）や配置を十分検討する。
- ・ 花いっぱいの富士、伊豆を演出するため、モモやウメなどのサクラの仲間や、ツツジなど花木類の活用も検討する。

## **2 富士山山体の自然や森林景観などの保全**

- ・ 富士山の自然植生を保全すべき範囲においては、拠点整備等を行わない。
- ・ 自然林復元に用いる桜苗木は、富士山の野生種から種を取って自家生産したものを植栽する。
- ・ 観光道路や周遊道路沿道の人工林は、間伐を推進するとともに、財産区・市町有林等の管理者の協力を得て、自然植生の育成や桜等の広葉樹との混交など景観に配慮した森林整備を進める。

## **3 富士山と桜の双方が奏でる美しさのPR**

- ・ 富士山周辺の桜の名所を知ってもらうため、開花状況などの情報発信を進める。
- ・ 富士山静岡空港を通じた本県への国内外からの誘客の増加を図るため、拠点のネットワークづくりと来訪者に対応した様々な周遊コースの設定を進める。
- ・ 浅間大社、三島大社、白糸の滝など富士山の歴史的景観や周辺施設等とも連携したコースを検討する。

## **4 協働による景観形成活動の推進**

- ・ 桜の植栽計画から維持管理、利活用、情報発信まで、住民、企業、行政等の協働による活動を推進する。